



Shaping the future  
with “Tsunagu” Technology™

株式会社フジクラ  
(東証プライム市場:5803)

 **Fujikura**

2025年1月



01. フジクラグループ概要

02. 2025年中期経営計画



本社

社名	株式会社フジクラ
本社所在地	東京都江東区木場1-5-1
代表者	取締役社長CEO 岡田 直樹
創業	1885年(明治18年) 2月
設立	1910年(明治43年) 3月18日
資本金	530億円 (2024年3月31日)
従業員数	50,254名(連結) (2024年3月31日)
売上高	7,998億円(連結) (2023年度)

- 1885年、藤倉善八による個人企業として創業
- アーク燈を見て、電気の時代を予見



藤倉善八



庶民が初めて見たアーク燈。その明るさに驚く



- 女性用ヘアバンド「根掛け」の技術を電線製造に活用
- 独立系である当社が強大な競合社に比し生き残る術は「技術」しかない

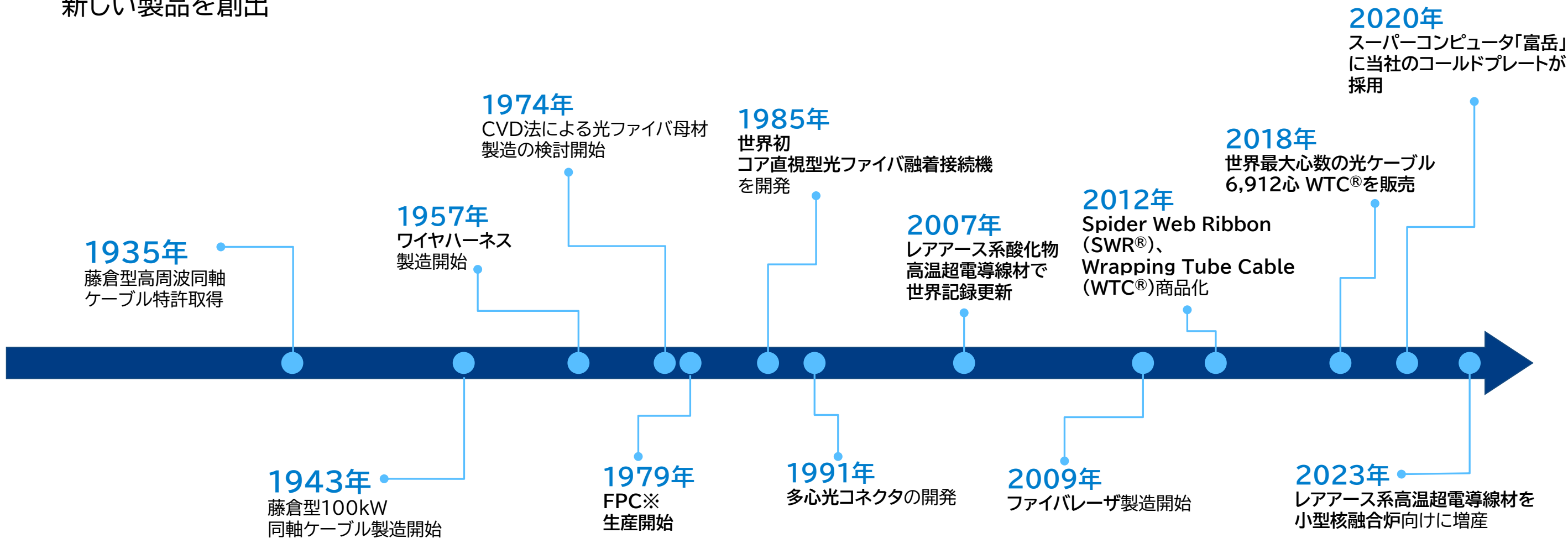


## 当社のDNAは「進取の精神」と「技術のフジクラ」

世界では今後も大きな変革が進むとともに、多様な技術革新が起こる。  
こういった社会の変化や技術の進展があるところには、  
私たちフジクラグループの優れた技術を活かせる機会が必ずある。

“つなぐ”テクノロジー™を通じ、顧客の価値創造と社会に貢献することが  
当社の「Purpose」であり存在意義。

- 1885年の創業から140年の歴史の中、社会の変化に合わせて、当社固有の技術を革新・応用し新しい製品を創出



## 第1の創業 (1885年～)

「技術の藤倉」として電力・通信インフラ整備を通じて豊かな社会づくりに貢献

## 第2の創業 (1945年～)

エネルギー・情通事業を中心に発展、多角化・グローバル化・新規事業を推進

## 第3の創業 (2005年～)

長期ビジョンを掲げ更なる技術開発と市場開拓を推進

※フレキシブルプリント配線板の略

## 2023年度 連結売上高 7,998億円

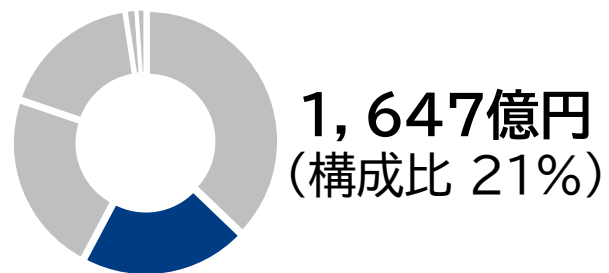
### 情報通信事業



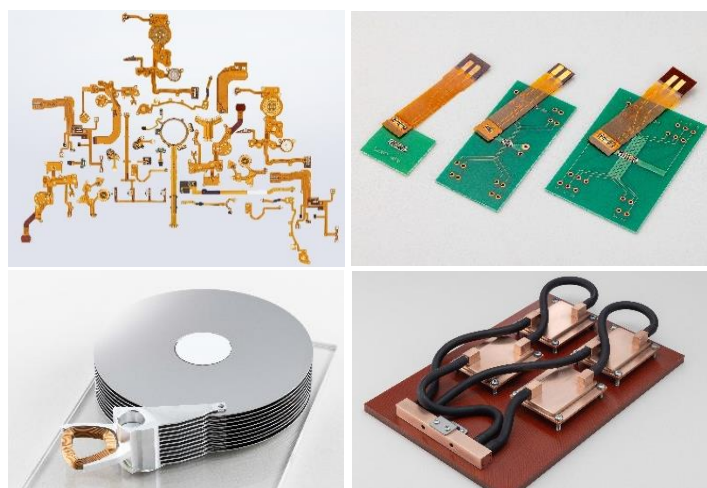
- 光配線ソリューション (光部品、光ケーブル等)
- 通信エンジニアリング
- 光ファイバ
- 光ファイバ融着接続機(世界トップシェア)



### エレクトロニクス事業



- FPC※
- 超小型コネクタ
- HDDアクチュエータ
- サーマルソリューション
- 圧力センサ・酸素センサ etc.



※フレキシブルプリント配線板の略

### 自動車事業



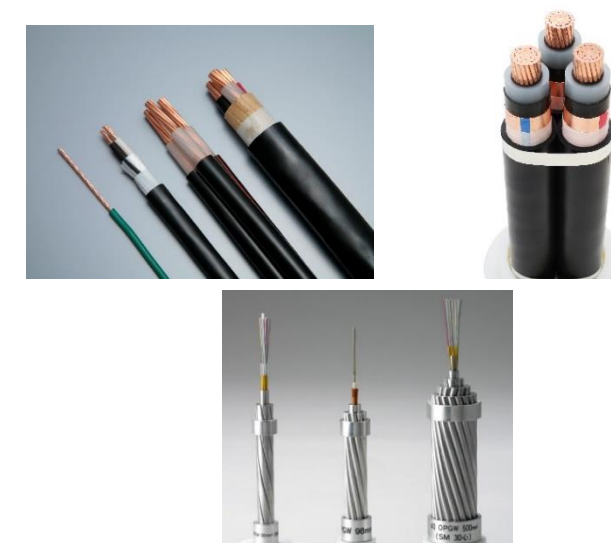
- ワイヤハーネス
- ヒューズボックス
- 急速充電ケーブルコネクタ



### エネルギー事業



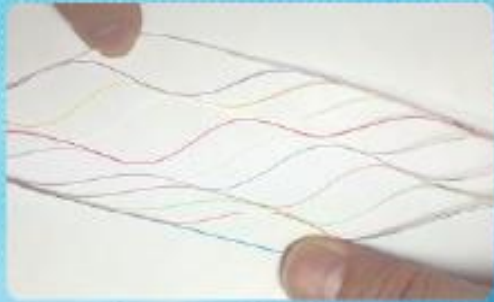
- 産業用電線
- 高圧・特高電力ケーブル
- 環境配慮型ケーブル
- 通信ケーブル
- 架空送電線



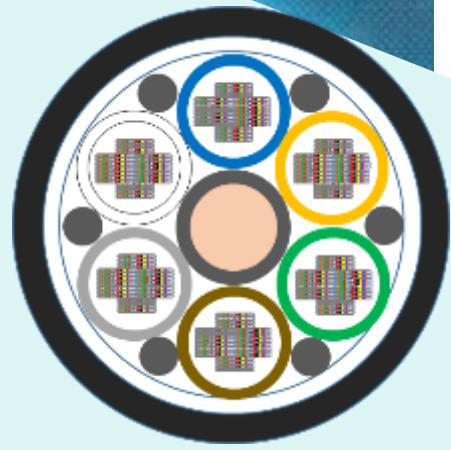


## Wrapping Tube Cable®

Spider Web Ribbon® with Ringmarking



- Applying Spider Web F
- 12 fiber mass fusion spl
- Easy separation into sin
- Easy identification of rib
- Full dry cable
- Easy and quick access
- Smallest cable diameter
- Long cable length / drum



ケーブルの直径 -28%  
ケーブルの重さ -52%

## Spider Web Ribbon®

- フジクラグループ : 31カ国／123社
- 2023年度 海外売上高比率 : 72%

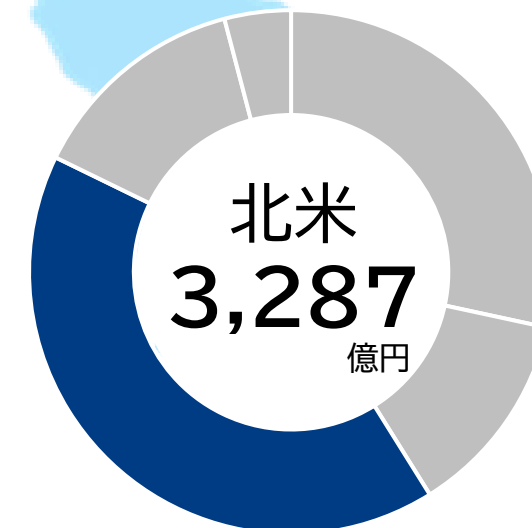
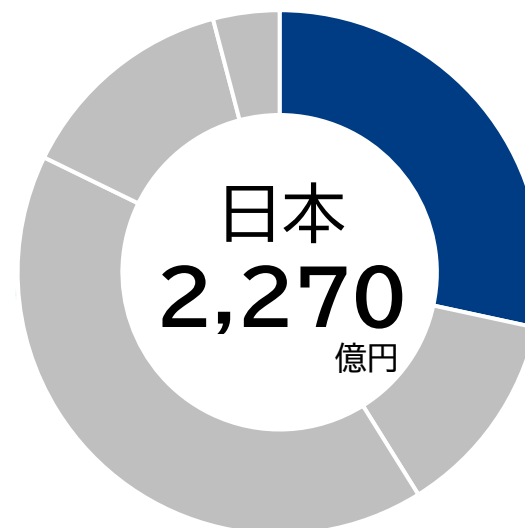
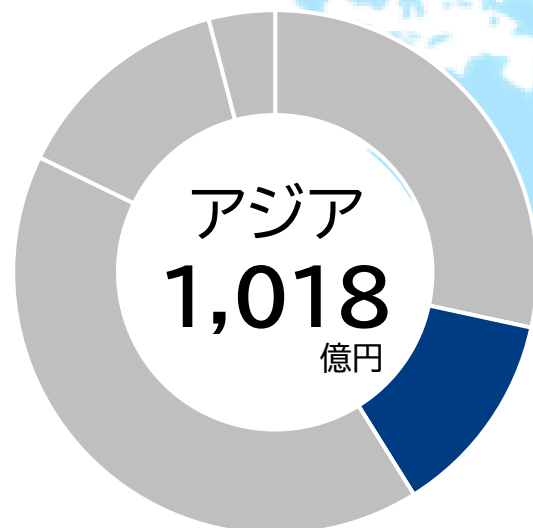
EMEA  
23社

中国  
11社

日本  
フジクラ + 28社

アメリカ大陸  
38社

アジア  
23社





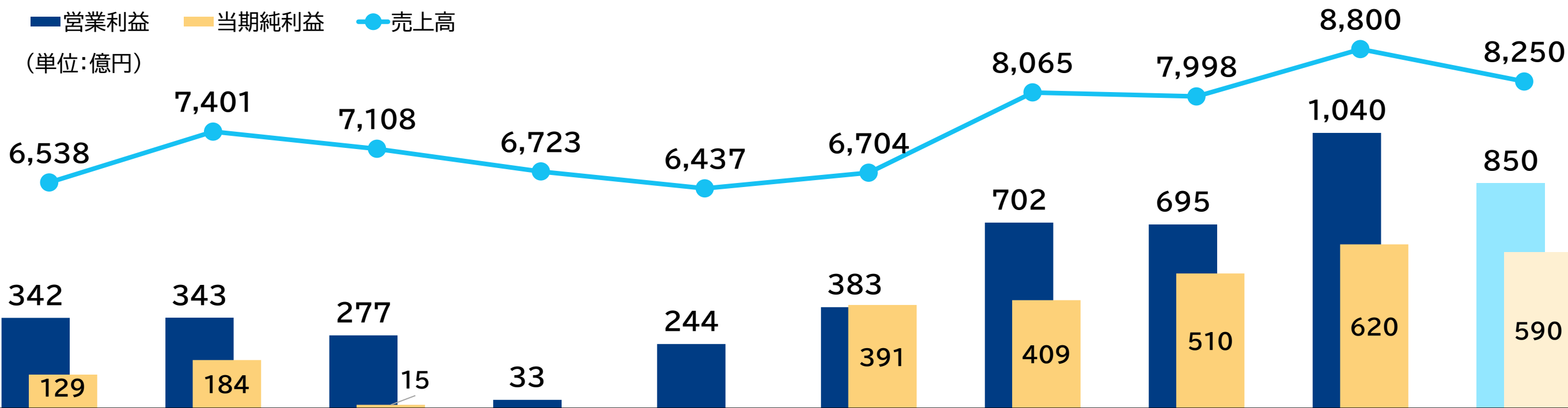
- 2024年度の売上高および各段階利益は、過去最高を更新する見込み
- 当期純利益は、4期連続の記録更新

事業再生フェーズ

持続的成長フェーズ

■ 営業利益 ■ 当期純利益 ● 売上高

(単位:億円)



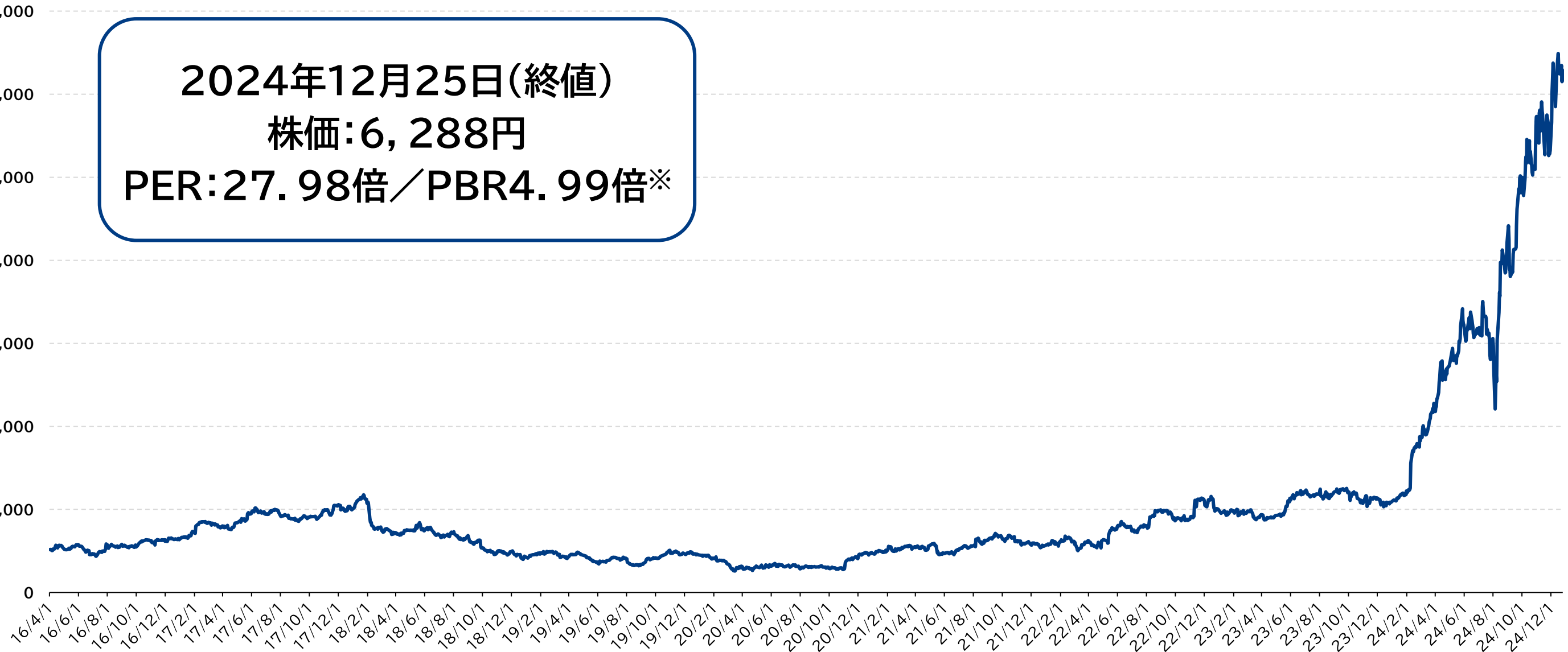
2016年度    2017年度    2018年度    2019年度    2020年度    2021年度    2022年度    2023年度    2024年度 (予想)    2025年度 (中期計画)

単位:円

事業再生フェーズ

持続的成長フェーズ

2024年12月25日(終値)  
株価:6,288円  
PER:27.98倍/PBR4.99倍※



※ PER = 株価 ÷ 2024年度予想(EPS)、PBR = 株価 ÷ 2023年度実績(BPS)



01. フジクラグループ概要

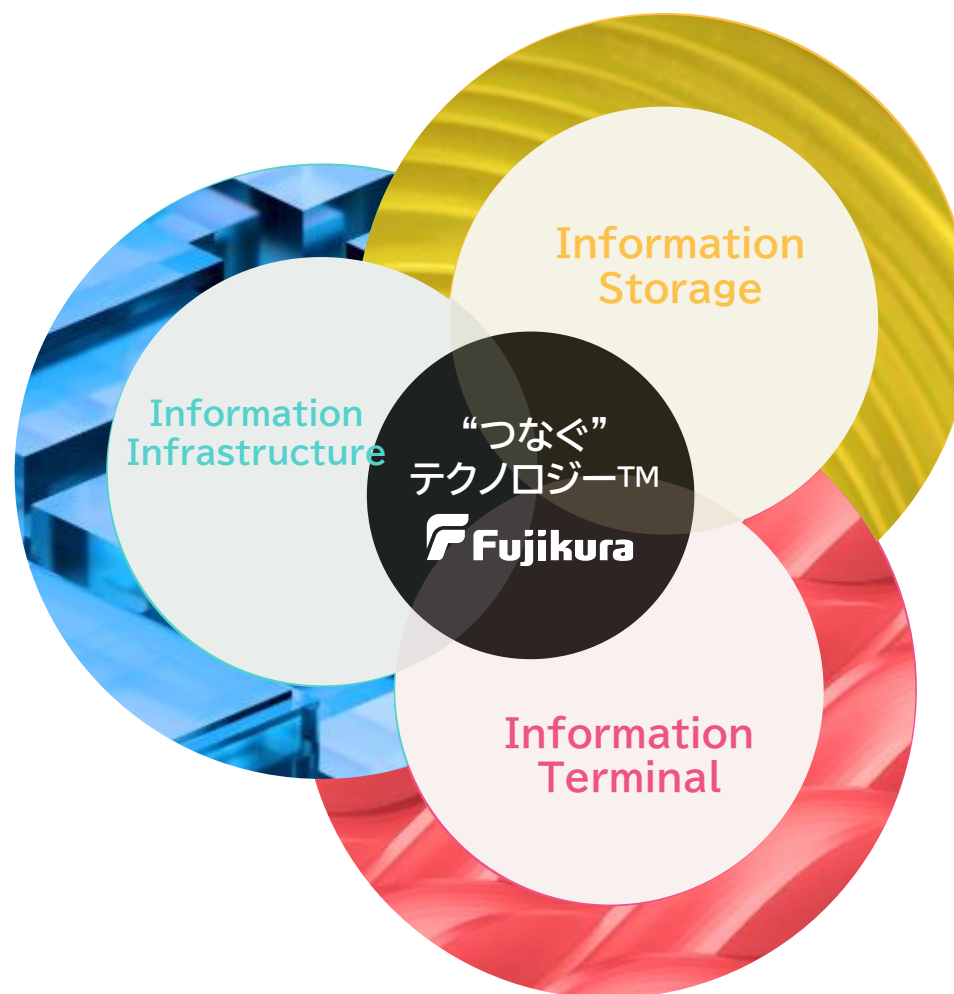
02. 2025年中期経営計画



すべてのモノが「つながる」世界。

## 情報インフラ

革新的な光技術をベースとした光配線ソリューションと将来の高速無線通信技術によって、高度情報化社会実現のためのインフラ基盤の構築に貢献。



## 情報ストレージ

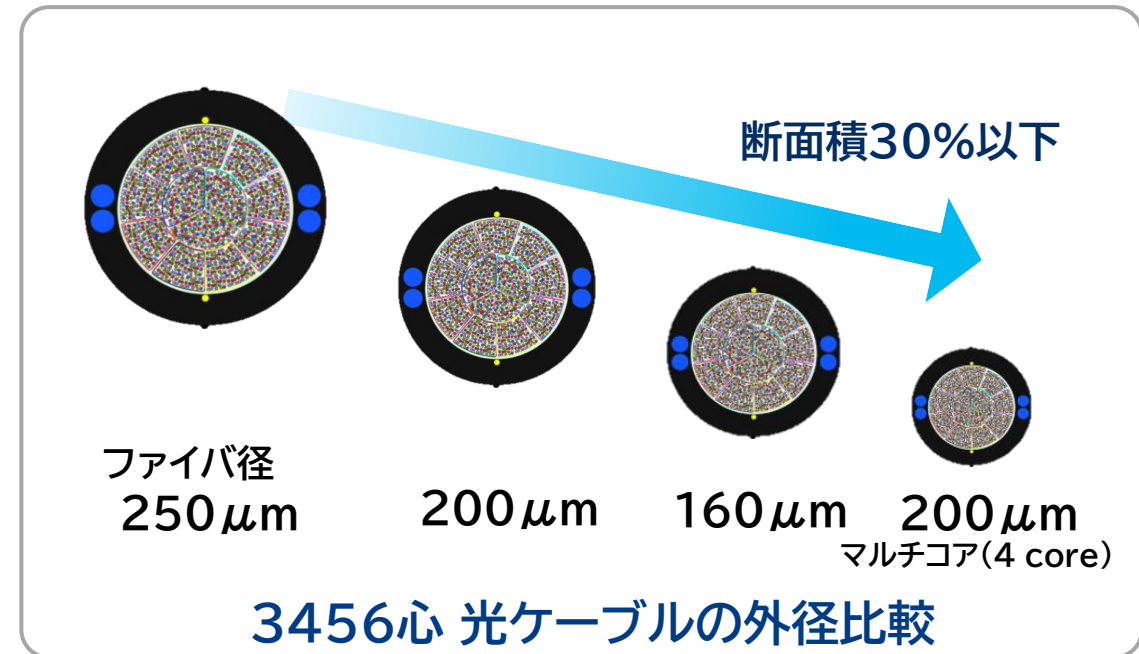
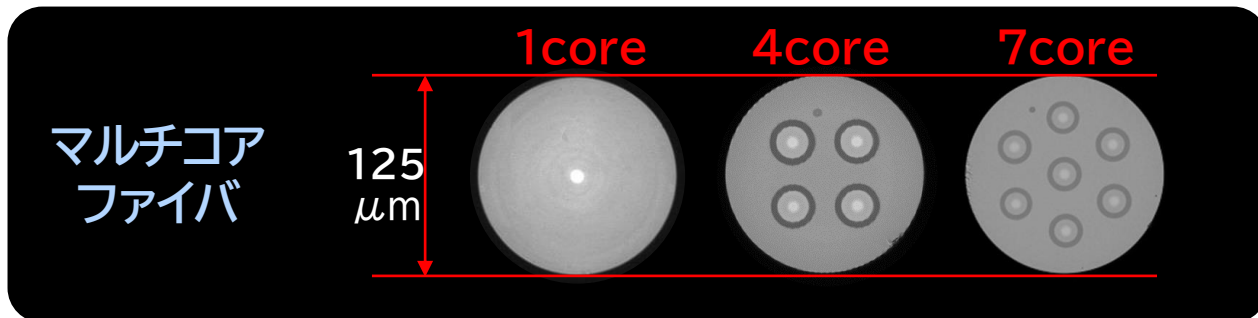
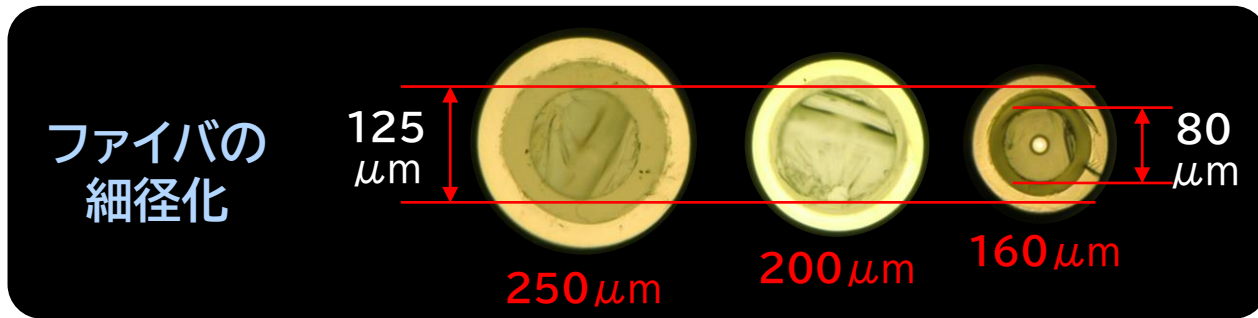
ユニークな電子部品技術や超高密度光配線技術で、膨大な情報をストレージするデータセンタの構築に貢献。

## 情報端末

高精細な電子部品や配線・実装技術で、高速大容量かつ高機能な情報端末の進化に貢献。次世代車も情報端末と捉える。

情報インフラ・情報ストレージ・情報端末の“つなぐ”テクノロジー™で、「技術のフジクラ」による顧客価値創造と社会貢献を目指す。

継続的な技術革新により、多心化・細径化・小型化という市場ニーズに応じていく。

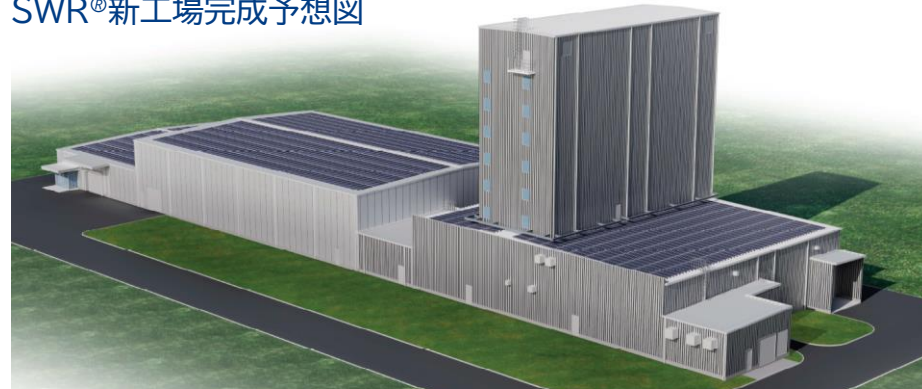


新たなSWR®/WTC®にマッチしたコンポーネントと光ファイバ融着接続機の開発 + スキルレスとPlug & Play。



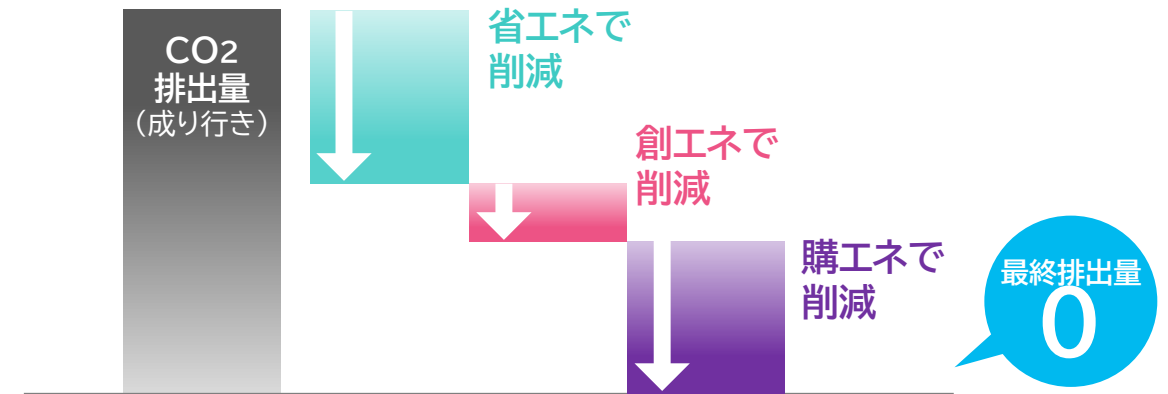
需要増への能力増強と  
将来に備えたコスト競争力の強化。

SWR®新工場完成予想図



## 新工場カーボンニュートラル計画

カーボンニュートラルも競争力の源泉とする。

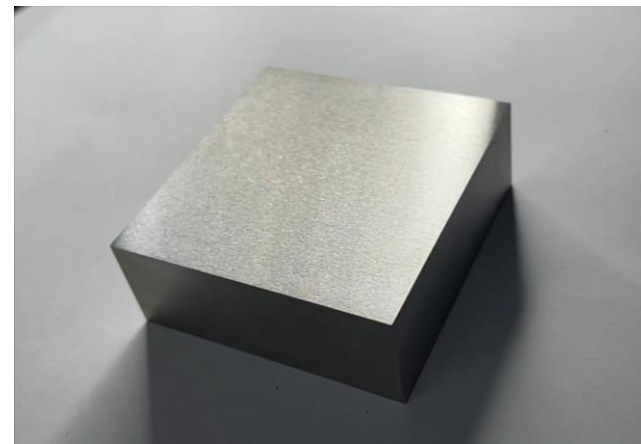


## 高性能製造装置及び金型

- 1 製造装置の自社開発
  - ・高速製造
  - ・高い歩留り
- 2 高度な精密加工技術を駆使した高性能金型
- 3 新製品と製造技術をセットで開発 >>> 差別化

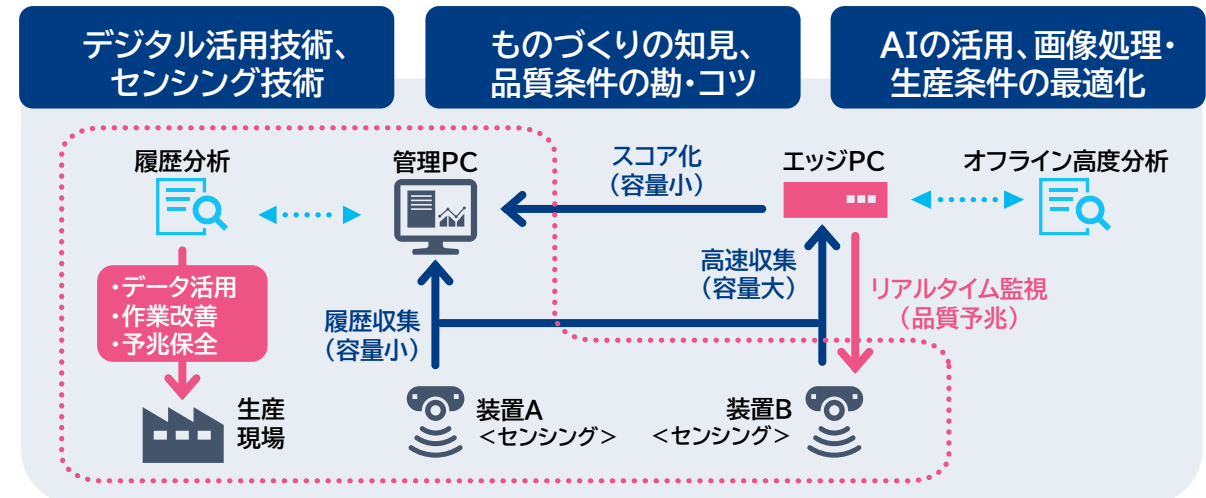
高い生産性と品質を実現

高度な精密加工技術



## ものづくりDX

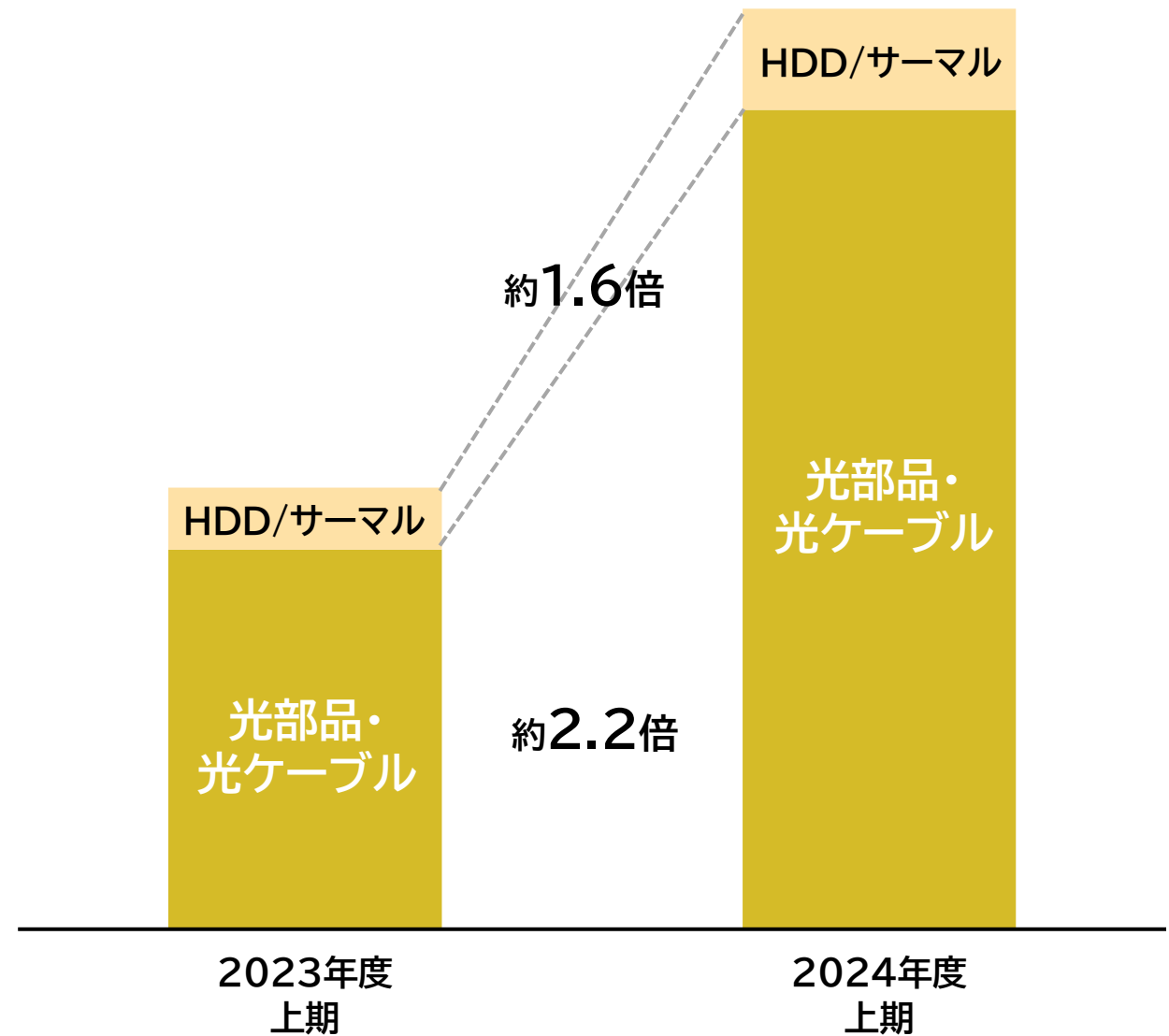
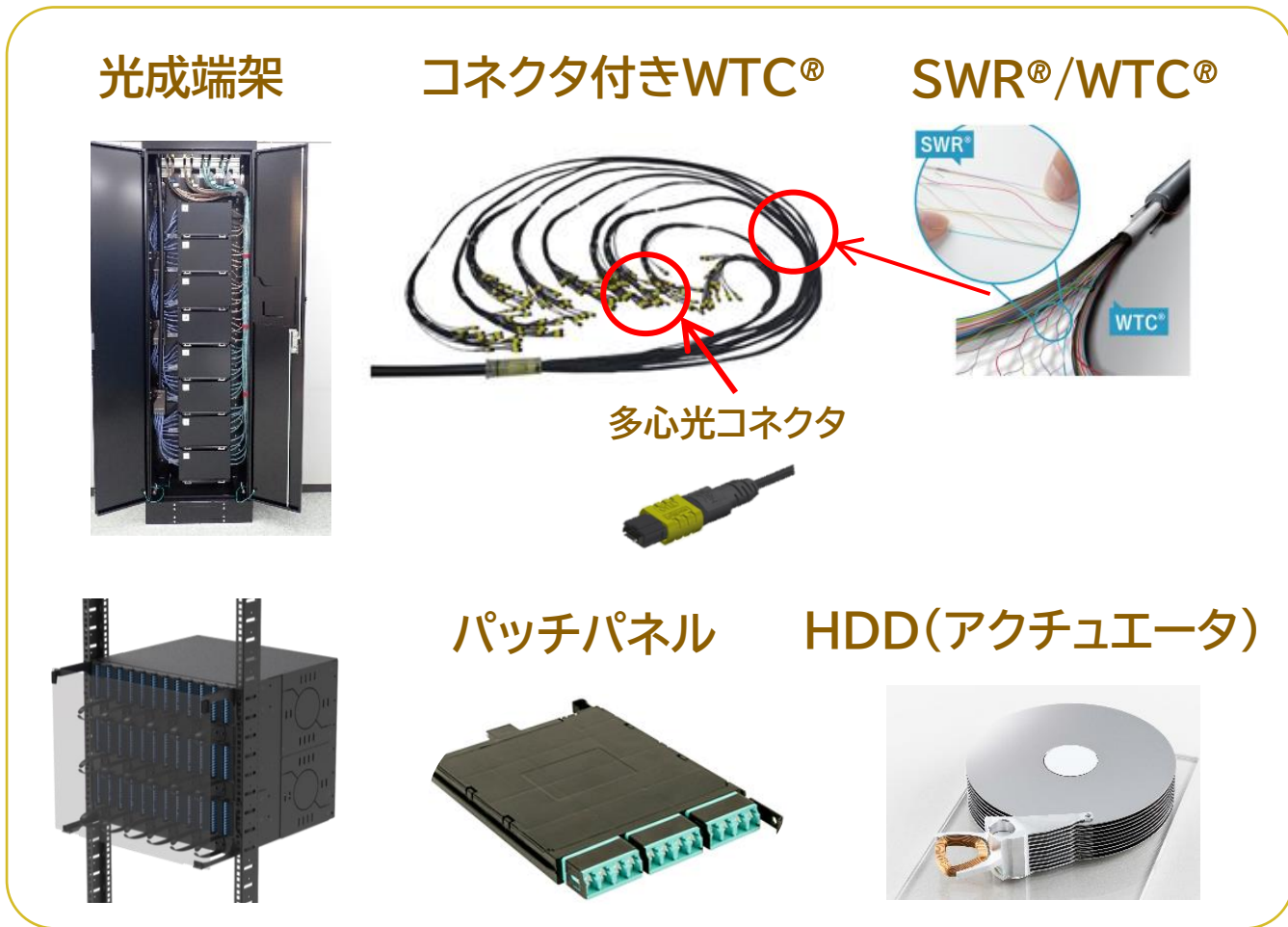
デジタル技術を活用したものづくりの高度化を実現する。





- コネクタ付きWTC®を始めとする光配線ソリューションの需要が急峻に増加
- 2024年度上期の情報ストレージ分野の売上は、前年比2.2倍に増加。下期も増加基調は継続する見込み。

## 光配線ソリューション(一例)





電子部品・コネクタの高密度・高精細・多機能化に高度な製造技術で応える。  
 優良な顧客のパートナーとして最先端アプリケーションの創出に貢献し、事業拡大を図る。

速い技術革新にフジクラのユニークな技術で対応

R&Dから移管して  
事業拡大

モーターのプレゼンス  
をロボットに展開

## 情報端末

## 情報ストレージ

## 医療機器

## 産業機器



PC    タブレット    スマホ    ウェアラブル    AR/VR    コネクテッドカー    ドローン    監視カメラ



データセンタ



医療機器



産業機器

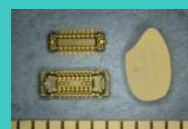
メンブレンスイッチ



極細同軸Assy



超小型コネクタ



FPC



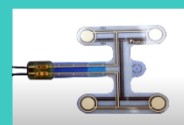
MEMS 半導体センサ



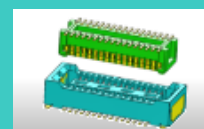
大容量ヒートパイプ



フィルムセンサ



HDDコネクタ



大容量HDD  
アクチュエータ



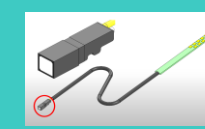
サーバー 冷却用サーマル製品



MEMS  
半導体センサ



CMOS内視鏡



酸素センサ



極細同軸Assy



MRIコイル



コネクタ

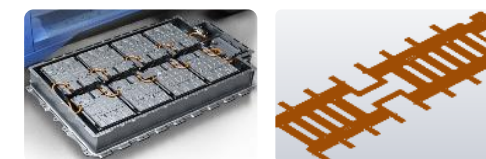




ワイヤハーネス(WH)の収益向上を図るとともに、CASEという100年に一度の変革期を機会と捉え、オールフジクラ技術で新たなビジネスを創出する。

## 既存WH事業

- 採算重視の受注戦略と事業規模の適正化による収益性の向上。
- WH単体販売から周辺部材を含めたソリューション提供へ。
- 次世代高級車重視で、高難度WHを高度な生産技術で対応。



バッテリー監視用FPC

## 新たなビジネスの探索

- CASEとつなぐテクノロジーとのシナジー。
  - ・ミリ波モジュール
  - ・光ハーネス
  - ・バッテリー監視用FPC etc...
- 自動車事業の持つアセットを他事業でも活用。
  - ・優良な顧客基盤
  - ・世界に広がる生産拠点



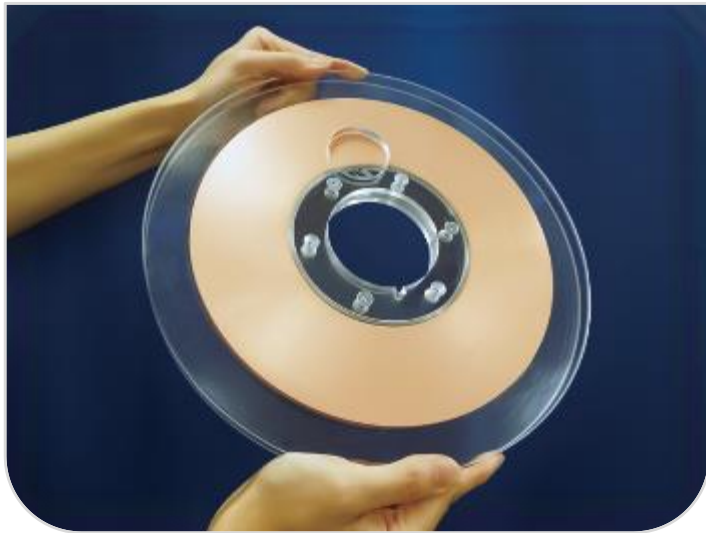
ミリ波モジュール



光ハーネス

SDGsに向けた取り組みの一つである「カーボンニュートラル」は、  
新たなビジネス創出の好機となる。

## 高温超電導線材



核融合技術の発展に寄与し、  
エネルギー問題の解決に貢献

## ファイバレーザ



他加工方式よりエネルギー効率が  
高く、環境負荷低減に寄与

## EV

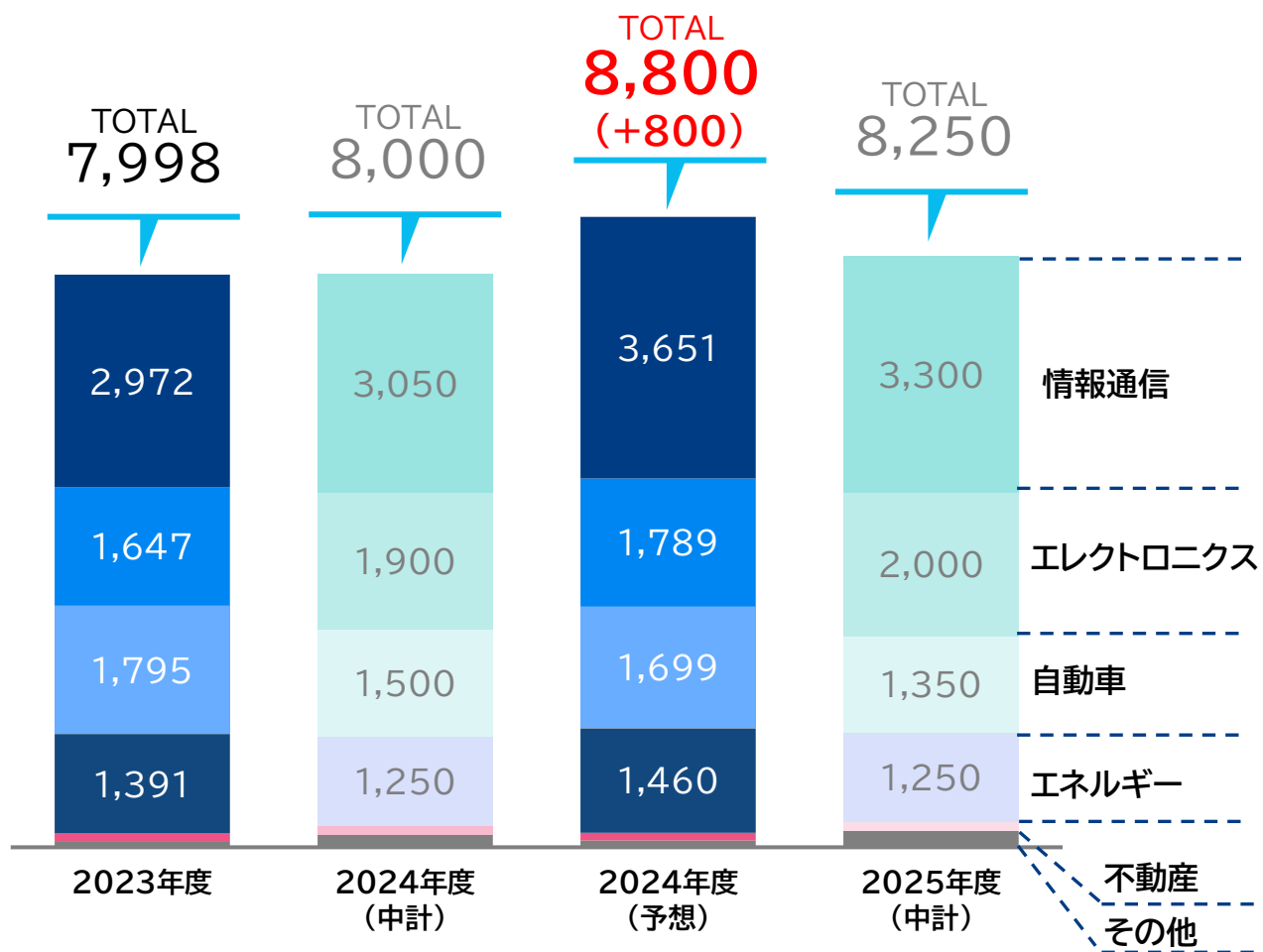


超高速充電技術で  
EVの普及促進に貢献

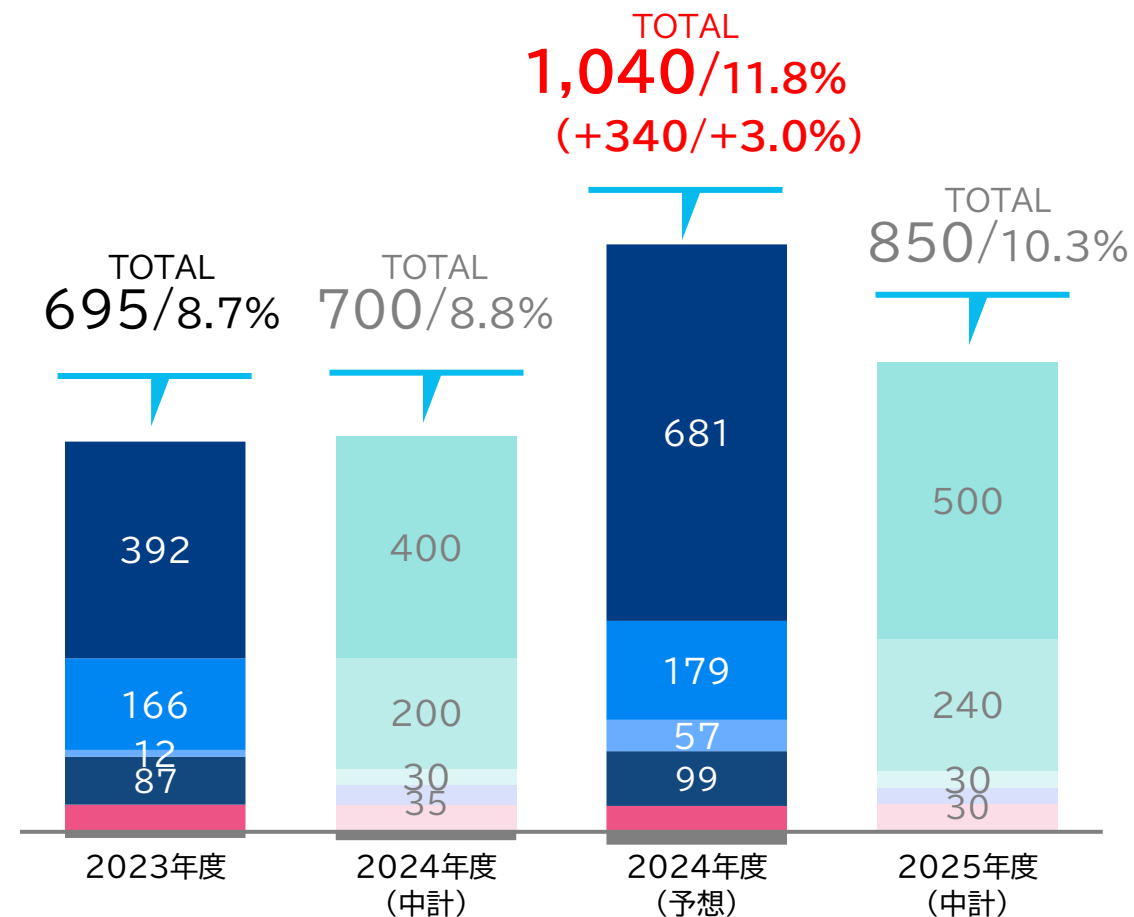
# 23-25年度 売上高・営業利益推移 (単位:億円/Unit:Hundred Millions JPY)

「情報通信」および「エネルギー」分野の伸長に加え、「自動車」の構造改革が奏功し、一年前倒しで、中期計画最終年度の売上高/利益を達成する見込み。

## 売上推移



## 営業利益推移



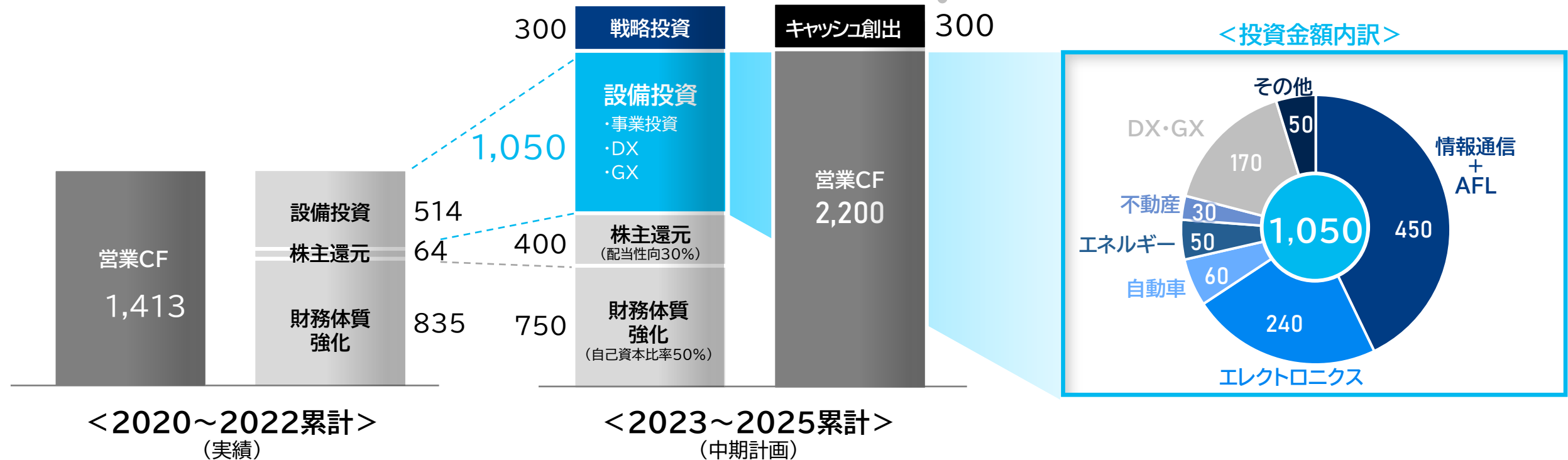
<為替> USD=144.59    USD=120.00    USD=146.39    USD=120.00

<為替> USD=144.59    USD=120.00    USD=146.39    USD=120.00

# 中期キャピタルアロケーションポリシー

- 01. **成長投資** / 成長市場である核心的3分野に重点投資
- 02. **戦略投資** / 新規事業へ機動的に投資
- 03. **株主還元政策** / 配当性向は30%を担保
- 04. **財務の健全性確保** / 自己資本比率は50%を確保

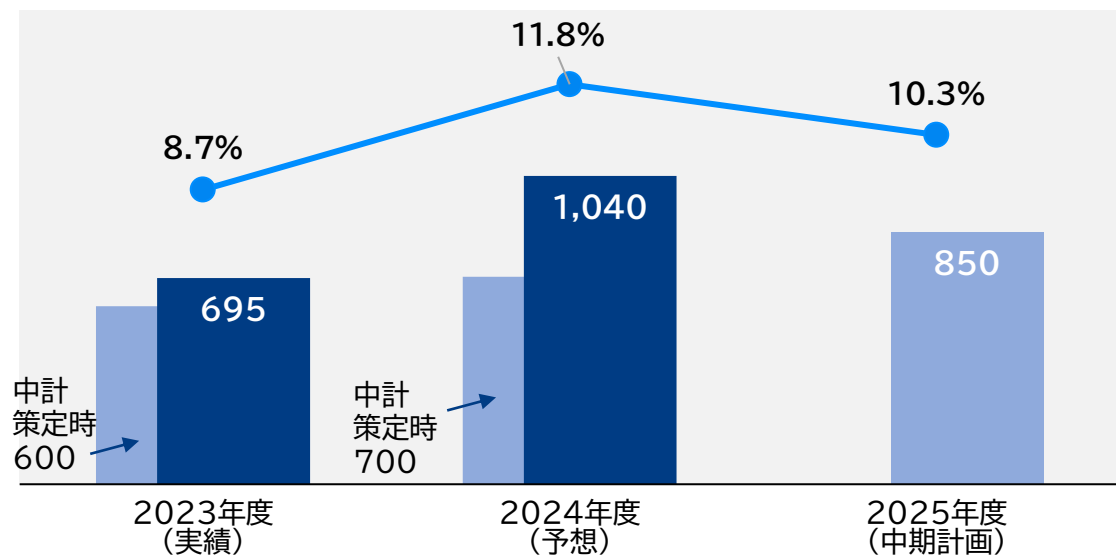
サプライチェーンマネジメントの改善効果によるキャッシュ創出



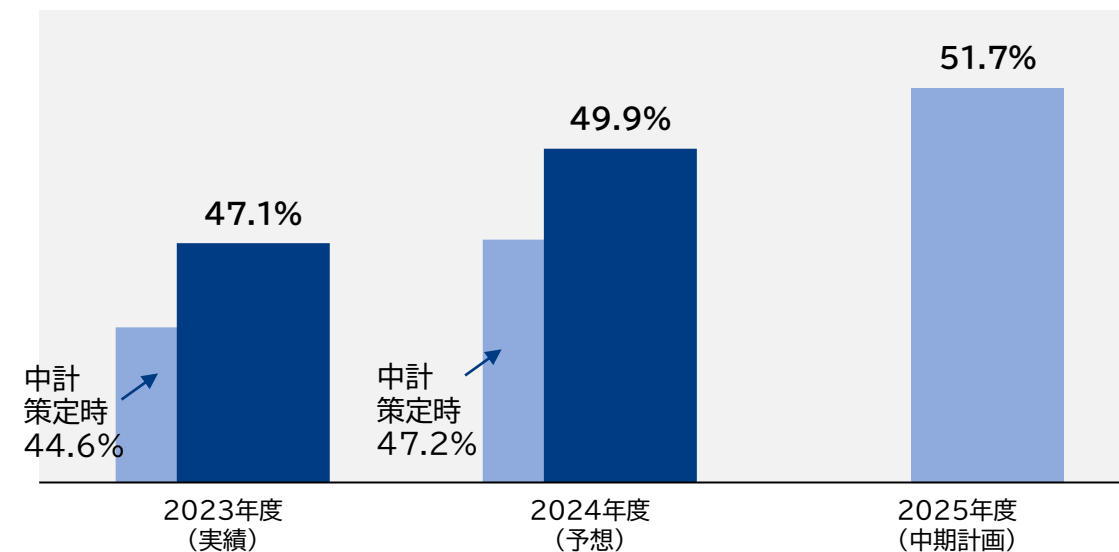
財務健全性の確保と成長投資をバランスし、企業価値向上を図る。

## 営業利益※／営業利益率

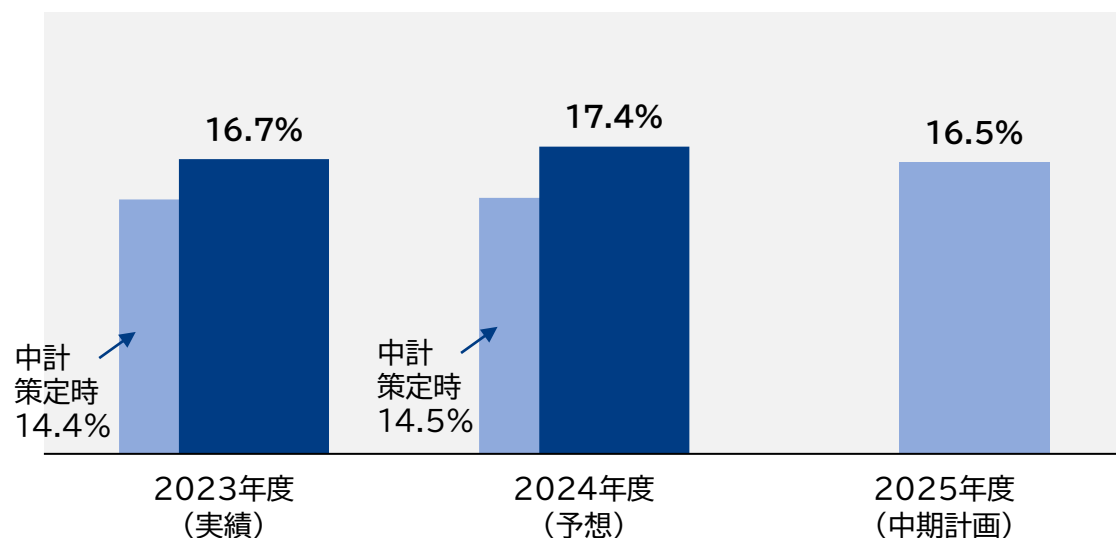
※ 単位：億円



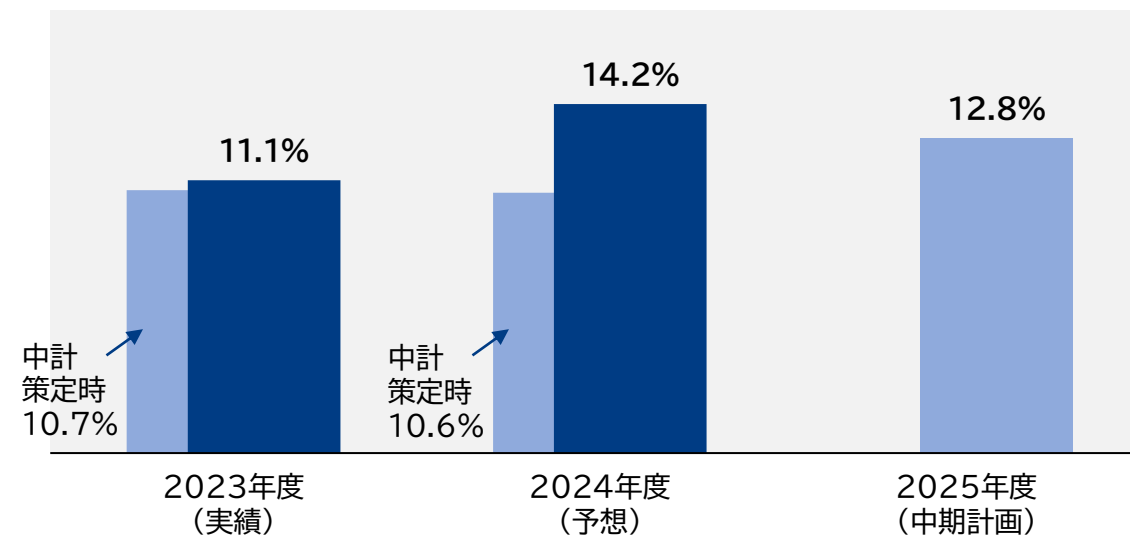
## 自己資本比率



## ROE



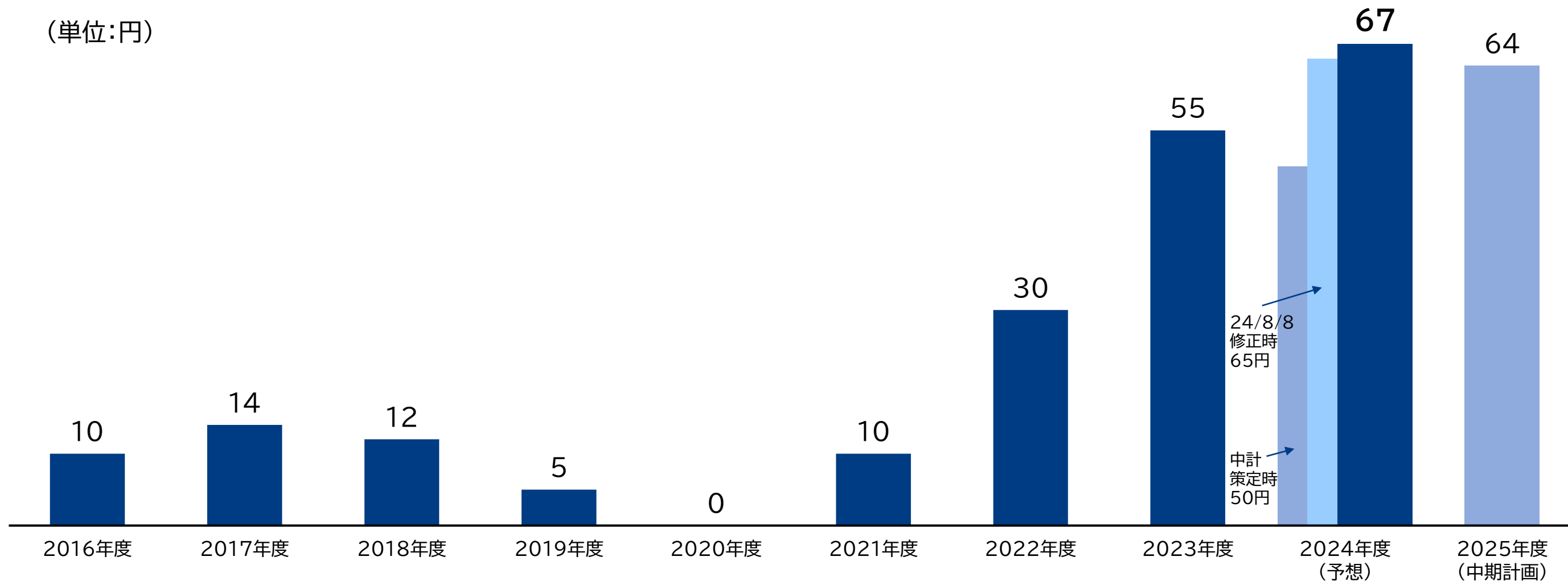
## ROIC

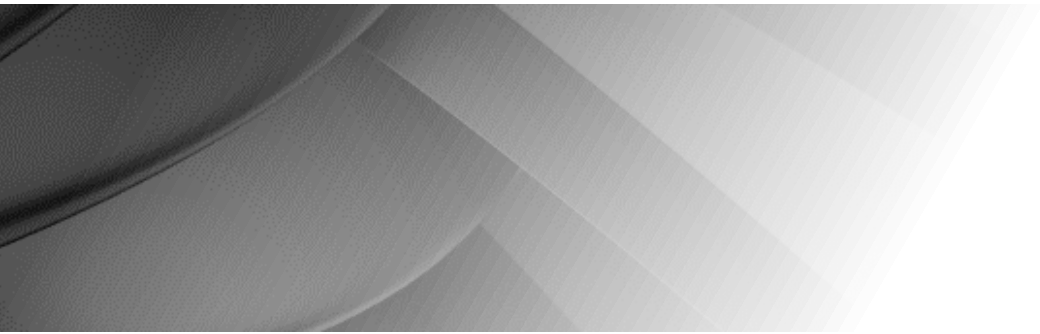


# 2025年中期経営計画:株主還元

- 財務健全性の確保と成長投資のバランスを図り、配当性向30%を目安とする。
- 2024年度の年間配当金は、利益の伸長により過去最高となる見込み。

(単位:円)



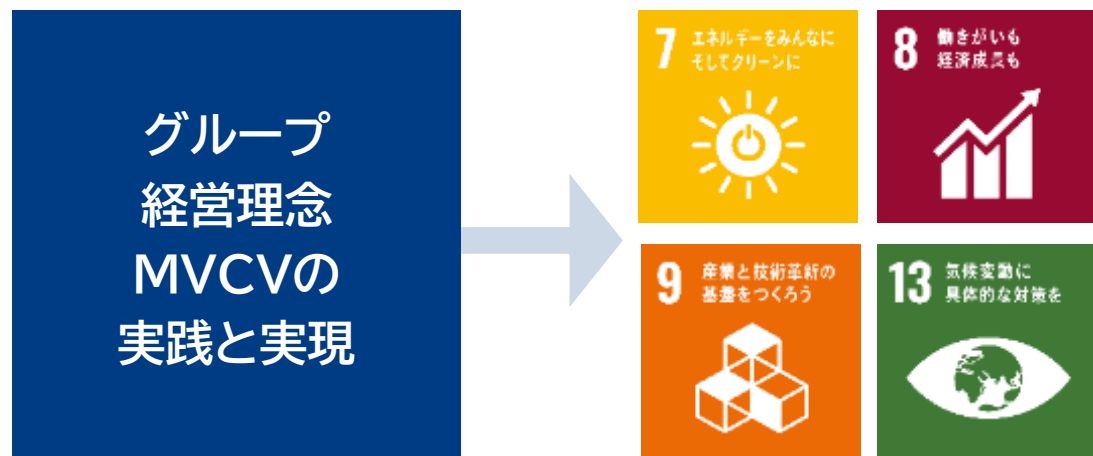


# Appendix



フジクラグループは独自の技術を駆使して、グループ経営理念MVCVに掲げている「“つなぐ”テクノロジー™を通じ顧客の価値創造と社会に貢献する」ことを目指す。さらに、ESGを経営理念そのものと考え、「サステナビリティ目標2025」を策定し取組みを強化していく。

## 4つのコア目標



ダブルマテリアリティ視点・CSR観点だけでなく、財務的な影響も考慮

## 4つのサステナビリティテーマと重点方策

サステナビリティテーマ		重点方策
F 財務・将来	2030ビジョン(CSV)の実現と事業機会の最大化	“つなぐ”ソリューションの提供により、快適で持続可能な“みらい”社会の課題を解決し、継続的な企業価値を高める データやデジタル技術を活用した既存事業の効率化と新たなビジネスモデルの創出
E 環境	フジクラグループ環境長期ビジョン2050の達成	チャレンジ1： 工場CO <sub>2</sub> 排出総量「2050年ゼロチャレンジ」
S 社会	世界で通用する有能な人財集団	グローバルに活躍できる人財育成 ダイバーシティ&インクルージョン
G ガバナンス	コーポレート・ガバナンス強化	サプライチェーンマネジメント(責任ある鉱物調達含む)

持続可能な社会への貢献と、企業価値の向上を目指す。

## フジクラグループ環境長期ビジョン2050の達成に向けたCO<sub>2</sub>排出量ゼロ ロードマップ

**2030**  
Scope 1,2

- 自社で発生するCO<sub>2</sub>排出量削減 (2020年度比33%以上削減)

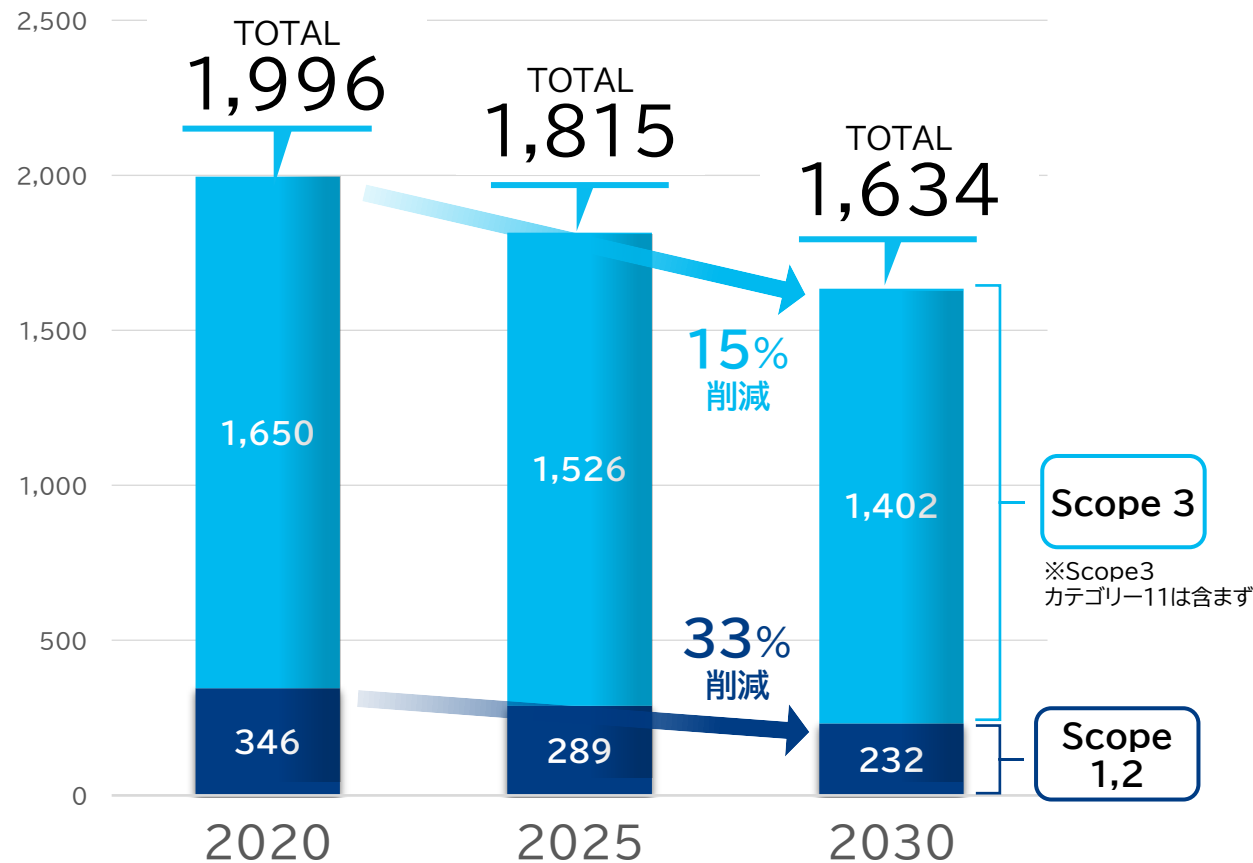
**2030**  
Scope 3

- サプライチェーンで発生するCO<sub>2</sub>排出量削減 (2020年度比15%以上削減)

- 使用電力の45%以上を再生可能エネルギーに切り替える

2050

二酸化炭素排出量 (千トン)



### 自社の排出するCO<sub>2</sub>の削減

省エネ

- 生産性向上と事業競争力を高める革新的なものづくりの開発
- 従来型省エネ活動の積極展開

創エネ

- PPAによる再生可能エネルギーの導入

購エネ

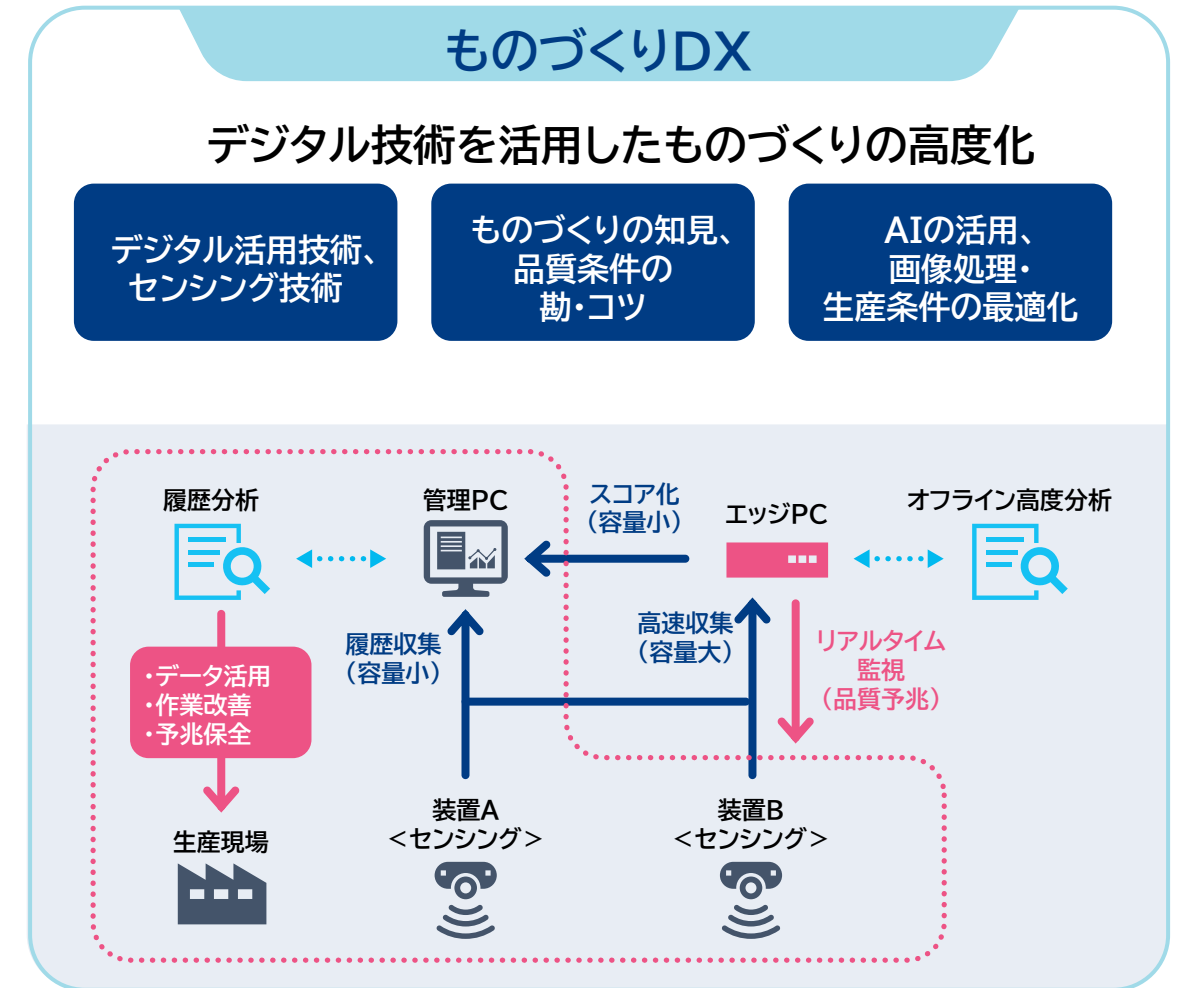
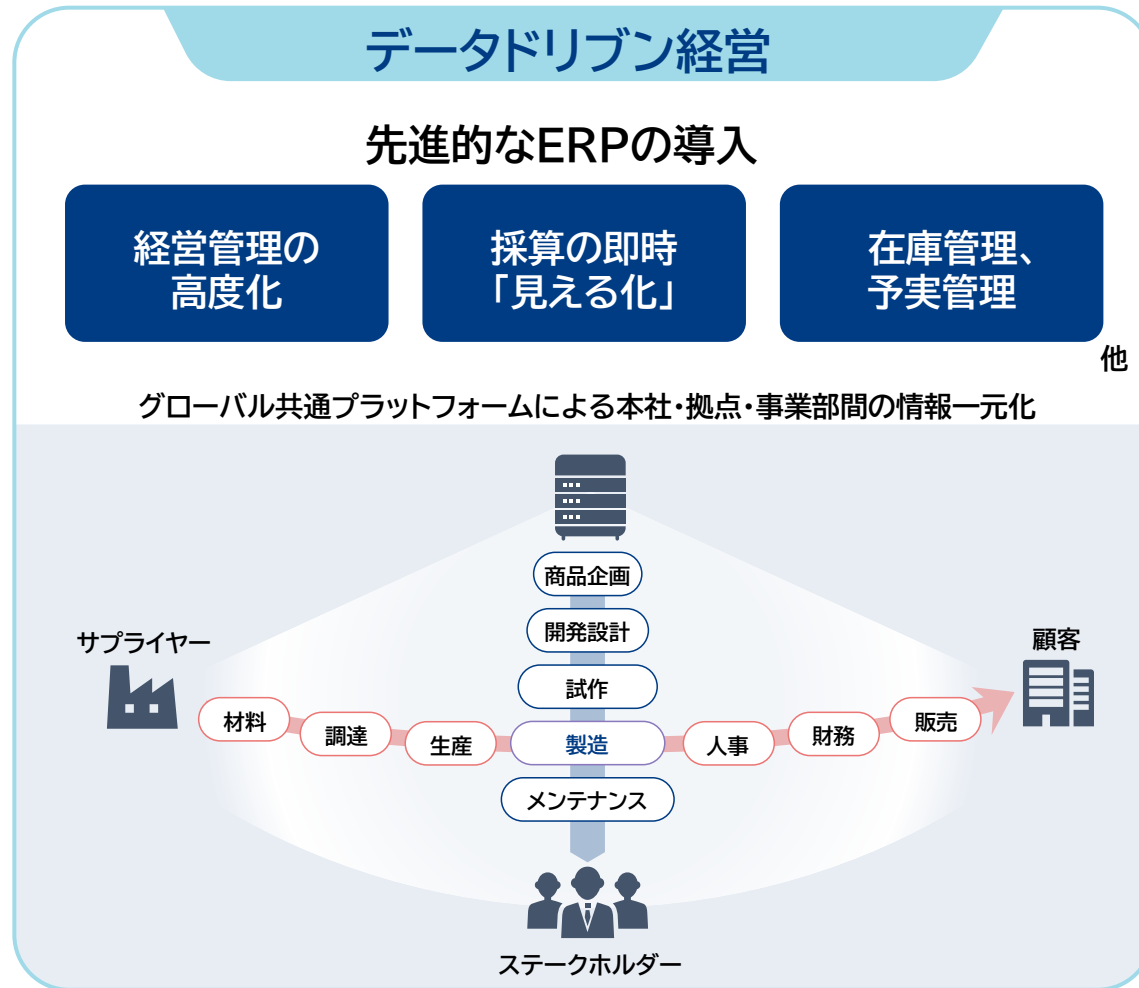
- 安価な環境証書と再エネの調達

### サプライチェーンで排出するCO<sub>2</sub>の削減

- 資源の再利用を推進
- サプライチェーンの脱炭素化を推進

### 製品のカーボンフットプリント削減

- ライフサイクルアセスメントの実施
- DX融合による個別製品排出量算定
- 環境配慮型製品の開発



データを活用した経営・ものづくりで、高収益企業へと進化していく。

- JPX日経インデックス400  
2024年度



- FTSE Blossom Japan Index
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- FTSE4Good Index Series
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント



FTSE Blossom  
Japan Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



FTSE4Good



- MSCI 日本株 女性活躍指数(WIN)
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- SOMPOサステナビリティ・インデックス

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数



Sompo Sustainability Index

上記のほか、2024年11月、MSCIの「ACWI指数」の構成銘柄に初めて選定



注記:本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。